

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	楽育楽座	公表日 2026年 3月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースを有効に活用出来るよう日々改善している。	利用人数の増減に応じて、より安全で活動しやすいスペース確保を検討していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	子どもの人数や状況に応じて適切にシフトを組んでいます。	児童の状況に応じた職員配置を継続し、必要に応じて配置の見直しを行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	利用スペースに段差はありません。視覚支援情報等を活用しシンプルで分かりやすい空間にしています。	児童の特性に合わせ、より分かりやすい環境設定や視覚支援の充実を図る。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清潔が保たれている。日々の清掃活動で清潔さを保ち、子供たちも整理整頓がしやすい空間にしています。	今後も清潔で安全な環境を維持し、活動内容に応じた環境作りを継続します。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	バーションで仕切り子どもがクールダウン出来たり、個別活動が出来るスペースを確保しています。	個別活動が必要な児童に対応出来るよう、スペースの使い方を更に工夫していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝礼、終礼や会議などでPDCAを用いています。	PDCAサイクルを継続し、職員全体で業務改善に取り組みます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表の他に定期的なアンケートを実施して意向の把握と業務の改善に繋がっています。	保護者からの意見や要望をより多く把握できるように、意見収集の機会を増やしていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の打ち合わせや定期的な会議や研修で広く意見を聞く機会を設けています。	職員の意見をより業務改善に反映出来るよう、意見交換の場を継続していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	今後、方法を模索検討していきます。	第三者評価について、実施方法や導入の検討を進めていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年間研修スケジュールを基に必要な研修を毎月行っています。	職員の質向上のため、今後も継続して研修機会を確保していきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	具体的なイメージが出来るよう留意して公表されている。	支援プログラムの内容を定期的に見直し、より分かりやすい形での公表を検討します。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	定期的な面談と日々の情報交換で適切にニーズを把握したうえで作成しています。	アセスメントの質を高めるため、情報共有と定期的な見直しを行っていきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	子どもの最善の利益と保護者のニーズを考慮したうえで、全職員が関わり作成しています。	職員間での情報共有をさらに強化し、より適切な計画作成に繋がります。
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援ソフトを活用して職員間の共有を行い、日々の打ち合わせの中で共通理解の形成に努めています。	支援計画の共有を徹底し、計画に基づいた支援の実施を継続していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	管理者や児発管が中心となって支援方法の軸を提示し、それをベースに各職員が適切な関わりや支援を行っています。	児童の状況把握を継続し、アセスメント内容の充実を図ります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	しっかりと手順を踏んで適切かつ具体的なものとなっています。	ガイドラインに基づいた支援内容を定期的に見直し、より適切な支援に繋がっていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間での意見交換をし行っています。	今後も職員間で話し合いながら活動プログラムの充実を図ります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	子どもの年齢や特性、状況に応じてマンネリ化しないように工夫しています。	子どもの興味や発達段階に合わせ、活動内容の幅を広げていきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	プログラムや各イベントを通して行っています。	子どもの状況に応じて、柔軟に役割分担を見直ししていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日、朝礼時に確認を行い連携と共通理解を深めています。	今後も支援前後の打ち合わせを行い、支援の質向上を図ります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	必要な振り返りと共有は出来ています。	支援の振り返りを継続し、より良い支援に繋がっていきます。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援ソフトを活用して記録を残し支援の改善に繋げています。	記録内容を活用し、支援の改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	保護者との連携を密にとり、子どもの状況とニーズに合わせた見直しを行っています。	定期的な見直しを行って、より適切な支援内容にしています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者又は児発管が参画	関係機関との連携を今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	今後は現在よりも地域の関係機関との連携を深めて、より良い支援に繋げていきたいと思っています。	地域の関係機関との連携をさらに深めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	送迎時情報交換を行っています。	今後もより一層積極的に進めて行きたいです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5	まだ行っていません。	今後必要な情報を共有していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	地域で開催されている研修等は、希望する職員には受講して貰っています。	必要に応じて専門機関との連携を検討していきます。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	今のところ行っていませんが、今後検討していきます。	地域交流の機会をについて今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の様子や子どもの課題や状況を共有しています。	保護者との情報共有を今後も継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要に応じて対応しています。今後も保護者の不安に寄り添い研修や情報提供を行っています。	必要に応じて家庭支援の充実を図っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明しています。	今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	必要に応じて面談を行い、意向を確認する場を設けています。	保護者の意向を確認しながら支援を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談時に必ず行っています。	引き続き丁寧な説明を行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者の不安や悩みに真摯に対応すると共に、必要な時にはこちらからの働きかけも行っていきます。	保護者の相談に適切に対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	今のところ行っていませんが、今後検討していきます。	保護者同士の交流会について、ニーズを踏まえながら今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速な対応を心掛けています。	苦情対応については体制の周知を図り、引き続き迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	支援ソフトや公式LINEを通して活動内容や行事予定等を発信して共有しています。	今後もSNS等を活用し、分かりやすい情報発信に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	厳重に管理しています。	個人情報ほごに関する取扱いについて、引き続き適切な管理を徹底していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	日頃から配慮しています。	子どもや保護者との円滑な意思疎通が図れるよう、今後も配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	今のところ行っていませんが、今後検討していきます。	地域との関わりについて、事業所の状況に応じて今後検討していきます。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	実施、周知をしていますが周知が不十分な面もあるため再度周知していきます。	各種マニュアルの周知を図り、職員への理解促進と対応力の向上に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に研修や訓練を行い、非常災害の発生に備えています。	非常時への備えを今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に必ず確認を行い、職員全員に周知しています。	子どもの健康状態について、今後も事前確認と職員間での情報共有を徹底していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	対応が必要な時にはそのように対応します。	保護者や医師からの情報を基に適切に対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に十分配慮し支援を行っています。	安全管理体制の維持を継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	保護者とは送迎時やLINEを通して密に連携をとっており、必要な情報を必ず周知しています。	家族との連携を図りながら、安全確保に必要な情報の共有を継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	職員全員への共有と記録として残すことが徹底されており、業務の改善に繋がっています。	今後もヒヤリハット事例の共有を継続し再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年間研修スケジュールに組み込まれており研修は必ず行っています。	虐待防止に関する研修を継続し、職員の意識向上と適切な対応の徹底を図ります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時に説明を行い理解を得て、計画に記載しています。	身体拘束に関する考え方について適切に説明を行い、対応していきます。	